

## 2003 年度 委員会活動成果報告

( 2004 年 3 月 31 日作成 )

委員会名	マスコンクリート研究小委員会	主 査 名 : 川口 徹
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 ( R C 工事運営委員会 )	委員長名 : 嵩 英雄
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>現在まだ当建築学会として制定されていない「マスコンクリート指針」の作成を行う。検討期間として3カ年を予定する。目標として、次回の JASS 5大改訂の前に指針を発行することを目指す。</p> <p>初年度：指針の構成、懸案事項の洗い出し、および本文の検討を行う。1回 / 2ヶ月程度の頻度で会合を開く。</p> <p>2年度：本文中の懸案事項に関する検討作業の実施し、可能な限り本文を確定させる。同時に、解説の準備作業を行う。</p> <p>3年度：解説の執筆を行い、指針作成を完了させる。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>今本啓一(足利工業大学)、川口 徹(大林組)(主査)、黒岩秀介(大成建設)、神代泰道(大林組)、小島正朗(竹中工務店)、桜本文敏(鹿島建設)、寺井靖人(戸田建設)、棚木 隆(太平洋セメント)、中村成春(宇都宮大学)、鳴瀬浩康(宇部三菱セメント研究所)、西田 朗(清水建設)、野口貴文(東京大学)、丸山一平(広島大学)、御手洗泰文(九州電力)、渡部聡(日東コンクリート技術事務所)</p>	
設置 WG (WG 名 : 目的)		
2003 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>第 1 回 2003 年 5 月 29 日 (木) 10 名、第 2 回 2003 年 7 月 24 日 (木) 8 名、第 3 回 2003 年 9 月 24 日 (水) 9 名、第 4 回 2003 年 11 月 27 日 (水) 13 名、第 5 回 2004 年 1 月 29 日 (水) 9 名、第 6 回 2004 年 3 月 25 日 (木) 12 名</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>コンクリートの断熱温度上昇特性、初期強度発現特性などについての既往研究成果の収集、整理を行った。</p> <p>マスコンクリートの温度分布解析、温度応力解析プログラムに関する既往研究成果の調査を実施した。</p> <p>建築分野の代表的マスコンクリートである基礎梁について温度ひび割れの発生危険度を解析的に検討した。</p> <p>指針本文構成を検討し、本文作成分担を決定した。</p>
	委員会 HP アドレス :
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>ほぼ予定通りに進捗している。ただし、本文原案の作成が若干遅れぎみである。</p>
その他評価すべき事項	